

事務事業実績測定調査

事務事業名称													追悼式典事業			
測定年度		2021(R3)年度			部		総務部			課		総務管理課				
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち												
		施策目標		13.平和の大切さを後世に伝えるまち												
		実行計画名														
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性		選択的事業			区分		一般事務事業				
事業期間		不明			年度		~				年度まで					
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称		サンセット														
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		戦争で亡くなられた方々及び本市のために殉職された方々の遺族												
		サブターゲット		追悼式典に参列される市民等												
		ターゲットが抱える課題		遺族の高齢化により、参列者数が減少傾向である。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		バリアフリーの会場での開催等、高齢者の方も参列しやすい会場での開催を行い、戦争で亡くなられた方々等を悼むことができています。														
事業概要		戦争で亡くなられた方々及び本市のために殉職された方々の霊を敬うため、追悼式という名称で式典を開催する事業である。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		戦争で亡くなられた方々等を悼むことができています。				遺族の方や参列希望者が参加できる。				高齢者の方も参列しやすい会場での開催を行う。						
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		指標説明		招待した方の出席率 【算出式:実際に参列した人数/追悼式に招待した方の人数×100】		参加人数		開催回数								
		指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標								
				単位 %		単位 人		単位 回								
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
				100	100	100	100	291	291	291	291	1	1	1	1	
実績		0	0			0	0			0	0					
達成度		0%				0%				0%						
分析		新型コロナウイルス感染症の影響により追悼式典の開催を中止したためである。				新型コロナウイルス感染症の影響により追悼式典の開催を中止したためである。				新型コロナウイルス感染症の影響により追悼式典の開催を中止したためである。						

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,414	4,785	4,448		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	6,414	4,785	4,448		
	物件費計	650	0	0	1,004	—
	歳出計	7,064	4,785	4,448		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	7,064	0	0	1,004	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症の影響により追悼式典の開催を中止した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	一般市民および関係団体に参列の働きかけを行うほか、遺族会と連携し出席率の増加を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	栄典・表彰等事務											
測定年度	2021(R3)年度				部	総務部			課	総務管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市名誉市民条例、枚方市有功者表彰条例、市制施行記念式典表彰に関する要綱、スポーツ及び文化等の褒賞に関する要綱、枚方市後援等に関する要綱					
関係補助金名称					サンセット	-
関係附属機関名称						

事業対象	メインターゲット	【栄典・表彰事務】 庁内各課において選考された叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	【栄典・表彰事務】 栄典等の候補者の人数に対して、実際に受賞できる人数が限られている。
	ターゲットが抱える課題	【市の後援事務】 後援により市の施策の推進に寄与すると認められる事業の確認。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	【栄典・表彰事務】 庁内各課において選考された叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者が表彰され、受賞を励みとして更なる活躍をされることにより、市政の振興に寄与される状態。 【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業等を後援することにより、公共の福祉及び文化、体育、郷土芸能等の振興に寄与する。
---------------------------	---

事業概要	【栄典・表彰事務】 庁内各課において選考された知事表彰・叙勲・褒章等に該当する候補者を府・国に対し上申する。 【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業の後援名義申請の承認等。
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		【栄典・表彰事務】 叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者が選考の上、受賞できる。	【栄典・表彰事務】 叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者を選考する機会を作る。

指標設定	指標説明	受賞者数				次年度受賞に向けた上申者数							
	指標種類	単位				単位				人			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)					4 1 1 2				2 1 2 1			
	実績					4 1				2 2			
	達成度					100%				200%			
分析					想定どおりであった。				想定以上に候補者が見込まれた。				

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業の後援を行う。	【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業の後援名義申請の承認を行う。

指標設定②	指標説明	後援名義承認件数				後援名義申請件数							
	指標種類	単位				単位				件			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)					80 80 80 80				80 80 80 80			
	実績					80 107				80 107			
	達成度					134%				134%			
分析					想定以上に申請があり、承認する結果となった。				想定以上に申請があった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,017	7,975	8,631		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,017	7,975	8,631		
	物件費計	439	41	258	211	122%
	歳出計	8,456	8,016	8,889		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	8,456	41	258	211	

5. 総括的分析

総括的分析 褒賞については、知事表彰1名、市民スポーツ賞18件、市民文化賞1件の表彰を行った。
 各種団体等からのイベント等に対する後援等名義は107件、市長賞は19件の申請を受け付けた。
 春秋叙勲において1名推薦予定であったが、府との協議の中で、府に割り当てられている推薦枠に限りがあることから、推薦不可となったため、春秋叙勲については0名の受賞実績となった。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	栄典事務の方法・手続きについては事務根拠となる法令等で定められているので、現状のまま継続していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	各種統計調査事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	総務部				課	総務管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス				特性				非選択的事业		区分		非選択的事務事業	
事業期間	不明				年度	~						年度まで		
根拠法令等	統計法													
関係補助金名称								サンセット						
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		統計情報を求めている人											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		最新の統計資料を得ることができない											
	ターゲットが抱える課題		必要な統計情報が見当たらない											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	回収した調査票から得られた統計調査結果が市ホームページや統計書に分かりやすく掲載されている状態。													
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹統計調査(統計法に基づく法定受託事務)を実施 ・統計書の編集発行 ・統計調査員の確保 													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					得られた基幹統計調査結果が適切にホームページや統計書に掲載されている。				統計法に基づく基幹統計調査を実施。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明				公表された最新の基幹統計調査結果がホームページや統計書に掲載できている件数		実施される基幹統計調査数							
	指標種類		単位		単位		件		単位		調査			
					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	実績					5	3	3	2	3	2	3	2	
達成度					133%				100%					
分析					昨年度公表できなかった調査結果も公表することができた。				スケジュール通り調査を実施できた。					

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	3.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	13.52
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	24,051	47,850	23,571		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	7,667	128,419	8,432		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	31,718	176,269	32,003		
	物件費計	1,550	16,020	755	1,201	63%
	歳出計	33,268	192,289	32,758		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	9,278	15,802	535	1,886	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2	4	0	9	
	歳入計	9,280	15,806	535	1,895	
	一般財源	23,988	214	220	▲ 694	

5. 総括的分析

令和3年経済センサス-活動調査の実施について、新型コロナウイルスの影響で休業中の事業所が多く調査困難に思われたが、調査票の郵送提出等を取り入れるなどの対策を講じたため、円滑に調査を実施することができた。
 また、最新の調査結果をホームページ等で公表することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	基幹統計調査は統計法に基づく法定受託事務であり、現状のまま継続する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総務管理事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	総務管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	職員				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	事務機器等の入替や効率的な運用・配置が行われている必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務機器等を適正に配置し、庁内組織の事務・事業が適正かつ効率的に執行できる環境が整っている状態。					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 共用物品購入、管理事務 事務機器管理事務 総務管理事務(浄書事務・郵便事務) 					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						事務機器等を適正に配置し、円滑な業務執行が行える環境が整っている。				適正な事務機器の運用			
指標設定	指標説明					適切な点検委託が行われた事務機器の割合 【算出式: 点検委託件数/点検対象となった事務機器数×100】				点検委託対象となった事務機器数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	達成度	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	分析					想定どおりであった。				想定どおりであった。			
	指標数値					100	100	100	100	14	14	14	14
実績					100	100			14	14			
達成度					100%				100%				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.13
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,017	7,975	8,267		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	27	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,044	7,975	8,267		
	物件費計	37,252	35,786	30,473	35,519	86%
	歳出計	45,296	43,761	38,740		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	657	498	461	638	
		歳入計	657	498	461	638
	一般財源	44,639	35,288	30,012	34,881	

5. 総括的分析

総括的分析 庁舎内の共用物品の購入や事務機器等を適正に管理し、庁内組織の事務・事業が適正かつ効率的に執行することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	庁内での事務をより効率的に執行できるよう引き続き取り組む。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総務管理課車両管理事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	総務管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市安全運転管理者等設置規程、枚方市庁用自動車管理規程				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公用車を利用する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車が適正に配置されている必要がある。 ・公用車事故の防止及び安全運転意識の向上を図る必要がある。 			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全かつ円滑な車両の配置・運用が行われている状態。				
事業概要	<p>公用車の管理及び整備。 車両予約システムにより、共用の公用車の円滑な利用を図る。 職員が安全運転や危機予測による事故防止に努める意識を持つため、各種研修会等を実施する。 公用車による事故の適正な措置や今後の対策を講ずるための自動車事故審査委員会、幹事会の開催。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	安全に公用車が運用されている状態。				インプット (活動)	適正な公用車の管理。					
	指標説明					アウトカム (活動効果)	故障が原因でのJAF出動要請件数				アウトプット (活動結果)	適切な点検を行った公用車の割合 【算出式:点検実施台数/点検対象台数×100】					
指標設定	指標種類	単位				単位				件	単位				%		
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					0	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100
	実績					0	0			100	100						
	達成度					100%					100%						
分析					公用車の適切な点検整備を行った。					法定点検等適切な管理を行った。							
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	職員が各種研修会等を受講し、安全運転や危機予測等の意識が醸成されている。				インプット (活動)	安全運転や危機予測等の意識醸成を目的とした各種研修会等を実施。					
	指標説明					アウトカム (活動効果)	研修により、安全運転や危機予測等の意識が向上したとされる職員の割合 【算出式:アンケートで意識が向上したと回答した人数/アンケート回答人数×100】				アウトプット (活動結果)	安全運転講習会の開催回数					
指標設定②	指標種類	単位				単位				%	単位				回		
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績					100	100			2	2						
	達成度					100%					100%						
分析					達成					達成							

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	3.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	18,501	17,481	21,374		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,788	3,132	2,807		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	21,289	20,613	24,181		
	物件費計	34,879	25,576	22,275	27,529	81%
	歳出計	56,168	46,189	46,456		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	287	432	352	425	
	歳入計	287	432	352	425	
	一般財源	55,881	25,144	21,923	27,104	

5. 総括的分析

総括的分析 車両予約システムにより、公用車の円滑な利用を行った。
 また、公用車事故防止対策の取り組みとして、年2回の安全運転講習会等を通じて安全運転に対する意識向上を図ることが出来た。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	公用車事故防止及び安全運転意識の向上に向け、安全運転講習会等により職員の意識啓発に努める。 また、「公用車事故防止特別対策ガイドライン」令和元年9月改訂版の周知徹底をはじめ、有効な事故防止対策を継続的に行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	庁舎維持管理業務								
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	総務管理課
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり						
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます						
	実行計画名								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則、枚方市役所防火管理規程				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	所管している庁舎への来庁者
	サブターゲット	所管している庁舎で勤務している職員
	ターゲットが抱える課題	所管している庁舎の利用者が、安全に利用できるよう施設保全や保守点検等が行われている必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	所管している庁舎の利用者が施設を安全かつ快適に利用できている状態。
---------------------------	-----------------------------------

事業概要	<p>1. 維持管理する庁舎概要</p> <p>①本庁舎(本館・別館)一所在地:大垣内町2-1-20、建築年:本館 昭和35年、別館 昭和44年、延床面積:約17,649㎡、構造・階数:SRC6</p> <p>②分館一所在地:大垣内町2-9-15、建築年:昭和63年、延床面積:約2,156㎡、構造・階数:S4</p> <p>③第2分館一所在地:大垣内町2-9-21、建築年:昭和46年、延床面積:約907㎡、構造・階数:RC2</p> <p>④サブリ村野一所在地:村野西町5-1、建築年:昭和48年、延床面積:約3,247㎡、構造・階数:RC2</p> <p>⑤輝きプラザきらら一所在地:車塚1-1-1、建築年:平成4年、延床面積:約3,758㎡、構造・階数:SRC8</p> <p>⑥分室(ひらかたサンプラザ1号館6階一部)一所在地:岡東町12-1、建築年:昭和50年、延床面積:約234㎡、構造・階数:SRC6</p> <p>⑦分室(ひらかたサンプラザ3号館4階一部)一所在地:岡東町12-3、建築年:昭和50年、延床面積:約771㎡、構造・階数:RC5</p> <p>※1 構造:SRC-鉄骨鉄筋コンクリート造、RC-鉄筋コンクリート造、S-鉄骨造</p> <p>※2 施設形態:④・⑤については庁舎と公の施設との複合施設、⑥については区分所有、⑦については借家</p> <p>2. 活動項目</p> <p>①庁舎施設管理(設備等保守管理、設備運転・監視、保安・警備、衛生管理、営繕業務等)</p> <p>②付帯施設管理(来庁者用駐車場・自転車駐車場)</p> <p>③管理サービス(庁舎受付、宿日直受付)</p> <p>3. 活動内容</p> <p>設備に係る各保守点検や警備、清掃など業務委託を活用する他、照明やトイレ設備など設備更新時において節電や節水機能を向上させるとともに使用電力の競争入札を実施するなど維持管理経費削減の取組みを進め、利用者にも満足いただけるような安全で快適な庁舎環境を来庁者、職員に提供する。</p>

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		所管している庁舎の利用者が施設を安全かつ快適に利用できている。	所管している庁舎の適切な維持管理を実施。

指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	指標種類	単位	単位	単位	
	指標数値	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)				
	実績				
	達成度	42%			100%
分析	令和3年度の機構改革に伴うレイアウト変更に係る費用を要したため、当初予算を上回る執行となった。			想定通りであった。	

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	6.47
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	14.68
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	48,538	47,211	49,772		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	29,037	34,893	32,217		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	77,575	82,104	81,989		
	物件費計	359,500	431,098	409,287	413,133	99%
	歳出計	437,075	513,202	491,276		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	6,494	13,332	
	市債	0	55,800	0	0	
	その他	2,980	2,007	3,614	4,331	
	歳入計	2,980	57,807	10,108	17,663	
	一般財源	434,095	373,291	399,179	395,470	

5. 総括的分析

総括的分析 輝きプラザきらら消火設備について、長年の使用による老朽化が見受けられ、また、有事の際の確実な消火設備の動作を確保するため、枚方市市有建築物保全計画に基づき、消防設備の改修工事を行った。
 また、令和3年度機構改革に伴う庁舎の改修工事等についても適正に行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<p>今後も来庁者、職員に安全かつ快適な庁舎環境を提供できるよう適切に維持管理を行う。 また、枚方市市有建築物保全計画に基づく維持保全工事等を実施する。 なお、維持保全工事や改修等においては、工事内容の精査や工事手法等の工夫を行い、経費の削減に取り組む。 本庁舎駐車場については、運営事業者と適宜協議等を行い、適切な運用に努める。</p>

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総務管理課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	総務部			課	総務管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	R4年度(2022年度)			年度	~	年度まで					
根拠法令等											
関係補助金名称						サンセット					
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	総務管理課の職員									
	サブターゲット										
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	課の運営を円滑に図り、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮している状態。										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 総務管理課運営庶務事務 行政財産目的外使用許可事務 自衛官募集に関する事務 										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	6,874		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	6,874		
	物件費計	—	—	17	14	121%
	歳出計	—	—	6,891		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
		歳入計	—	—	0	0
	一般財源	—	—	17	14	

5. 総括的分析

総括的分析 庁内組織の事務・事業が適正かつ効率的に執行することができた。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	庁内での事務をより効率的に執行できるよう引き続き取り組む。